

令和3年度 事務事業評価シート（1）

〔令和2年度事務事業〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	水環境改善整備事業			事業番号	019-035	
担当部署名	建設	局	土木	部	河川水路	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(2) 環濠エリア・堺旧港の魅力の創出		
			有	取組の方向性	③環濠水辺や緑を活かした魅力創出					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			—						
3	事業開始年度			平成 10 年度			点検年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			河川法第1条						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			堺市民（約83万人）及び市を訪れる人々（不特定多数）			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			・ 内川・土居川においては、白濁化や悪臭の発生を低減、解消し、透明感のある魚の棲む川にする。 ・ 百舌鳥古墳群の構成資産の一つである仁徳天皇陵の濠の水環境改善に寄与するため、必要な水源を確保する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			・ 土居川は、中流域で屈曲した地形の為、水が滞留しやすく、また川底にたまったヘドロ等の要因により河川水中の酸素が不足し、時期的に白濁化や悪臭の問題が発生しています。そこで、土居川よりDO（溶存酸素量）が高い海水を導水することにより、DO（溶存酸素量）を確保し、水環境の改善を図ります。 ・ 内川・土居川の水環境改善の施策として実施した海水導水事業導入後の水質改善効果を検証するため、水質調査を1年を通じて実施し、目標値を達成しているか検証を行った。 ・ 今後は安定的な海水導水を実施する為、施設の適切な維持管理を行う。 ・ 宮内庁へは、前年度に行った仁徳天皇陵の濠の水質調査結果に考察を加え、報告書を作成し、提出した。 ・ 仁徳天皇陵の濠の水環境改善としては、既設管網を利用した雨水活用に向け試行を実施した。引き続き、関係機関との協議調整に必要な様々な雨天時の壕への流入系統や流入量等のデータを収集する。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			—			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			請負業者			
10	公民連携・協働事業			—			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11	透明感のある魚の棲める水質レベル 溶存酸素の確保 (夏季の底層平均DO値)	mg/L	目標値	2	2	2	2	
			実績値	5	4			
			達成率	250%	200%			
	当該指標を選定した理由	環境基準により、多様な生物が生息可能な数値として設定。						
	目標値の設定根拠・算出方法	D O 2 mg/L以上とは、透明感のある魚の棲める水質レベルである。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	土居川海水導水量	t /日	目標値	12,000	12,000	12,000		
			実績値	12,000	12,000			
			達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由	水質改善を図るため、海水を導水する。							
	目標値の設定根拠・算出方法	夏季の土居川底層のDO（溶存酸素量）を平均 2 mg/L以上にするための導水シミュレーション結果による。						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	水環境改善整備事業	事業番号	019-035
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						(単位：千円)
	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	3,424	3,278	5,500	3,150	1,000
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	3,424	3,278	5,500	3,150	1,000
14	人件費 (b)	20,500	20,250	9,840	9,840	9,840
15	年間経費(c)=(a)+(b)	23,924	23,528	15,340	12,990	10,840

事業費の内訳									(単位：千円)
		項 目		年度		事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳		内川水系水質等調査業務	R2	決算	2,920	2,920		R2	決算
			R3	予算	1,000	1,000		R3	予算
		土居川最上流部越流水調査業務	R2	決算	230	230		R2	決算
			R3	予算	0	0		R3	予算
			R2	決算				R2	決算
			R3	予算				R3	予算
			R2	決算				R2	決算
			R3	予算				R3	予算
			R2	決算				R2	決算
			R3	予算				R3	予算

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和元年度	令和2年度
	①	水質等調査業務	式	1	1
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,278	2,920
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,278,000	2,920,000
	備考 (算出についての説明等)		事業の効果検証にかかる費用を計上しています。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	令和2年度においても、出島漁港からの海水を導水することで河川水中の溶存酸素不足が改善され、河川水の白濁化や悪臭の発生の抑制につながったことから費用対効果は高いと考えられる。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	水質改善の結果、河川敷が映画やテレビのロケ地として利用され、河川をクルーズする船運にも利用されている。